

## 校長あいさつ

新座市立東北小学校長 斉藤 直之

今年度3年目となります、本校校長の斉藤 直之（さいとう なおゆき）です。

昨年度は、学校行事や教育活動の充実のため、保護者の皆様方には、温かな目で見守っていただき、ご対応いただきましたこと、重ね重ね感謝申し上げます。

さて、令和8年度は、115名の1年生を迎え入れ、4月8日から759名でのスタートとなりました。

年の変わり目は大きな節目です。新しいことを始めるよいきっかけとなります。これまでのことを改め、さらによくするチャンスとなります。子供たちも、新しいクラスで、頑張っていこうと気持ちを新たにしているところかと思います。学校としましては、生徒が「がんばろう」「変わろう」と思っていることを、しっかりとサポートすべく、「美しく 温かく 常に前進」の精神で、教育活動を推進して参ります。

子供は、家庭の教えて芽を出し、学校の教えて花が咲き、世間の教えて実がなると言われております。どのような教育活動も保護者や地域との連携・協力なしには効果は期待できません。

学校としましては、日常の確かな教育実践と説明責任をお約束し、広聴機能の組織化に努めて参ります。情報の積極的な発信、「足を運び、来て・見て・やってもらう」を合い言葉にした学校づくりを「心を込めて」推進していく所存です。連携はドッジボールではなく、キャッチボールである。この言葉をキーワードとし、東北小学校は、一人一人の児童としっかり向き合い、全教職員が一丸となって、児童の健やかな成長のために努力して参ります。

また、今年度から2年間の予定で校舎の改修工事が行われます。工事に伴い、運動会をはじめ、学校行事も変更となります。グラウンドが狭くなり、校舎がネットで囲まれて、教室が暗くなるなど、環境面で心配はありますが、保護者の皆様のお力もお借りして、教育活動を進めてまいります。

今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。